とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年9月19日（金）
クラス名（年齢）	ことり組（1歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

オシロイバナに触れる

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・散歩や戸外遊びをしている時に草花に興味を示して見たり、ままごと遊びに取り入れるなどしたので、園庭に咲いているオシロイバナに触れる機会を作る。

2、活動スケジュール

・オシロイバナを見たり、自分でオシロイバナを摘み、指で摘んで感触を楽しむ。
・色水を作り、色が変化していく様子を見る。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・オシロイバナ、ビニール袋、水

＜活動内容＞

・オシロイバナを見たり、保育者と一緒に指で触れて感触を楽しむ。
・自分でオシロイバナを摘み、顔に近づけて匂いをかいでみようとする。
・ビニール袋をもんで色水を作る中で、色の変化に気付いて指差しをしたり、色を言ったりして楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・オシロイバナが咲いている所に行くと、興味を持って見たり指で摘んだり、そっと触ろうとする。	
・自分でオシロイバナを摘み、「ピンクだね」と花の色を保育者に知らせたり、顔に近づけて匂いをかいでみようとする。	
・集めたオシロイバナを水と一緒にビニール袋に入れもむと、興味を示して真似をして自分でも袋をももうとした。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・普段から戸外遊びの時に草花を見ていたり、8月に水遊びをする中で色水遊びを楽しみ、色にも興味を示していたので、今回の活動を取り入れた。オシロイバナに興味を示して見たり、指で摘んで感触を楽しんでいたので良かった。ただ見るだけではなく、自分の顔に近づけて匂いをかいでみようとする子どもの姿には驚いた。
・色水作りでは段々と水に色が付いたことに気づいて、色を言ったり、指を差して保育者に知らせていたので、子どもたちの気づきを丁寧に拾い、一緒に共感し、楽しめるようにした